

留学キャンパスレポート

経営学部 経営学科 IT ビジネスコース 3年

ウェストバージニア大学 経営学部

森山 友理恵

私が通っているウェストバージニア大学は自然豊かな学校で、住んでいる人々がとても優しいです。本来なら冬の時期はとても寒いらしいのですが、今年は厳しい寒さではなかったようです。しかしながら、大阪

では見る事ができないほど、雪が積もります。

人生で初めての海外という事もあり、最初の頃は語学の面はもちろん、生活面でも不安がありました。現地の学生達の助けのおかげで毎日を楽しく過ごす事ができています。また、毎日の予習と復習を欠かさずにする事で授業についていけないという不安はなくなりました。



現地の学生は平日はほとんど勉強をします。平日の図書館は深夜の2時まで開いています。その一方で、週末は遊ぶといったメリハリがきちんとしているので、私もこちらの大学に来てから、オンとオフがしっかりできるようになりました。また、様々な国籍の学生がいるこの大学では、アメリカの文化だけでなく他の国の文化にも触れる事ができるのは魅力の1つだと思っています。特に日本に興味がある学生が多く、秋学期は日本語の授業を取っている学生に日本語を教えるチューターをしていました。日本人よりも日本に詳しい学生がいて、日本についてもっと考えるようになりました。

先ほども述べたように、平日は勉強に専念しますが、週末は大学内で様々なイベントが行われます。Mountainlair というフードコートのようなところでは金曜日の夜に **up all night** と呼ばれる夜の10時からフリーフードが出されるイベントがあります。フリーフード以外にも、フリーでテディベアが作れるイベントなどがあり、生徒たちが無料で楽しむ事ができます。**up all night** は深夜の2時まで開催しており、週末を存分に楽しむ事ができます。

留学を考えていて、今このキャンパスレポートを読んでいるみなさん、最初は新しい環境で慣れない事が多く、不安になると思います。しかし、現地の人達はとても親切でほんの些細な事でも助けてくれます。私は留学をしてから人の暖かさを実感しました。そして、留学前は英語にたくさん触れる事ができる英語村を利用する事をオススメします。

